

魂 の 相 剋



伊賀市 ミュージアム青山讃頌舎特別展

中野英一遺作展

EIICHI NAKANO POSTHUMOUS EXHIBITION

2023.9.8(金) — 10.9(月祝) 火曜日休館
OPEN 10:00 — 16:30

伊賀市 ミュージアム青山讃頌舎

〒518-0221 三重県伊賀市別府 718-3

近鉄大阪線青山町駅下車徒歩 15 分、大村神社隣り

観覧料 一般 300 円 高校生以下無料

■茶室「聴樹庵」で愉しむ秋の呈茶会

9月17日(日)・9月24日(日) ①10:00 ②11:00 ③13:00 ④14:00

各回8名 [予約制] 呈茶代 400円(お抹茶・お菓子)

お申込/8月19日(土) 午前10時から青山ホール電話 0595-52-1109 にて受付開始

[主催・お問合せ] 公益財団法人伊賀市文化都市協会 ☎0595-22-0511

[共催] 伊賀市 [協力] 一般財団法人東洋文化資料館青山讃頌舎

[協賛] 堤側庵ギャラリー・三重画廊

[後援] 伊賀市教育委員会・名張市教育委員会

◆この事業は、伊賀市文化振興条例及び伊賀市文化振興ビジョンに基づき実施します。



中野英一の逝去から既に 18 年。今や彼の名と作品を知る人は限られているだろう。しかし、中野は 20 世紀後半の三重の美術界で逸することができない作家の一人だと思う。

私が初めて中野とその作品に接したのは 1980 年代初め。当時の中野はステンレスを素材に抽象的なレリーフを制作していた。恥ずかしながら、その時のことは「形」に対する作家の強いこだわりを示す作品だと思ったこと、作品がかなり重く制作にも苦労が多いという話を聞いたこと、それと彼の実直な人柄しか記憶にない。その後、話をする機会は幾度もあった。しかし、彼の制作がどのように展開してきたのか詳細を聞くことはついになかった。彼との会話は展覧会や美術界についての雑談などが主で、彼も自身については積極的に話そうとしなかった。

正直に白状すれば、彼が様々な試みを続けていたのを私が知ったのは、2014 年に関係者の尽力で開催された遺作展の際だった。初期の幾何学的構成の作品、モノクロームの有機的抽象の作品、金属のレリーフなど、絶えざる模索を展示作品は示していた。認識不足を私は恥じた。

なかでも、1950 年代半ばから 60 年代にかけて制作された抽象形態が画面を埋めるモノクローム調の作品群が発する原初的なエネルギーは人をひきつける力に満ちていた。あの朴訥な人柄の作家の内面に激しい感情が渦巻いていたことは大きな驚きだった。

終戦からほどなくして抽象絵画を始めた中野であれば、世界を席捲しつつあったアンフォルメル絵画や抽象表現主義に彼が強い関心をもっていたであろうことは想像に難くない。しかし、彼は単に流行を追っていただけではなかった。他でもない自分だけの世界を画面に定着させようとする倦むことのない熱い戦いを続けていたのである。そのことを彼の作品から強く感じるのには私一人ではないはずだ。

(もうり・いちろう 三重県立美術館前館長)

中野英一 画歴

- 1926 年(大正 15 年)三重県伊賀市に生まれる
- 1957 年 三重県展 知事賞
- 1958 年 二紀展 佳作賞 三重県展 中日奨励賞 (東京)二紀会特選展
- 1959 年 二紀展 同人推挙 (上野)アンデパンダン展 企画参加(59~61 年)
- 1960 年 二紀展 同人賞 日本美術家連盟会員推挙 上野市展 審査員(~2003 年)
- 1961 年 三重県展 審査員(61,87,90 年)
- 1963 年 二紀展 同人優賞 (津)三重青年美術作家展
- 1967 年 (東京)二紀選抜 100 人展 (東京 / 大阪)コンファランス二紀 シーズンオフ展
(津)三重芸術文化協会 第 1 回芸術祭参加 以後毎年出品
- 1973 年 関西二紀会 記念大賞
- 1977 年 二紀会 会員推挙 (東京)二紀選抜展
- 1980 年 三重二紀会 結成 支部長就任 (津)抽象の現状展
- 1981 年 (上野)アートナウ IGA 展 企画参加(81,82 年)
- 1982 年 (津)三重県立美術館 開館記念 三重の美術・現代展
- 1996 年 (津)アートフロンティア現代日本の視覚展 (96,97 年)
- 2005 年 逝去
- 2014 年 (津)遺作展 三重県立美術館 県民ギャラリー (津) 三重県立美術館に作品収蔵

個展 (東京)ルナミ画廊 (大阪)あの画廊,あかお画廊,(津)三重会館, 三重画廊, (鳥羽)鳥羽水族館
ピュアアートギャラリー, (上野)上野産業会館,きの画廊 など



中野英一遺作展

～スケッチブックより～

会期 | 2023 9.9 | 土 | -9.14 | 木 | 会期中無休

会場 | 堤側庵ギャラリー

場所 | 三重県名張市新田 8

時間 | 11:00 - 18:00

電話 | 0595-65-3002

中野英一遺作小品展

～抽象作品を主体として～

会期 | 2023 10.4 | 水 | -10.8 | 日 |

会場 | 三重画廊

場所 | 三重県津市中央 18-19

時間 | 10:00 - 17:00

電話 | 059-225-6588